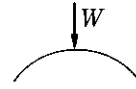


KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.9 (1977) No.1.2

かみさ測定による鋼材の引張特性値の推定について

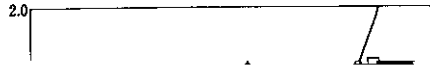
性の分野においてもピッカースかたさ⁴⁾、ポルディ
かたさ⁵⁾による遷移温度の決定など、材料の低温





となるから、 $d\sigma_n/d\varepsilon_1=0$ において、公称引張強
さ σ_{nu} に対応する真ひずみ ε_{1u} は、

$(\epsilon_{if})^n \dots (14)$



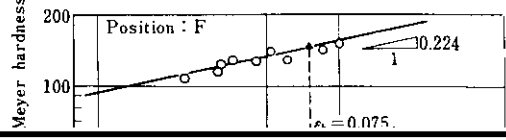
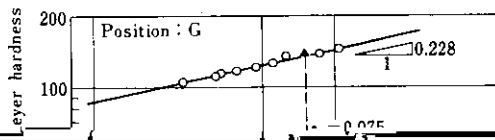
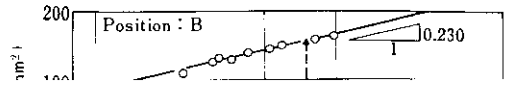
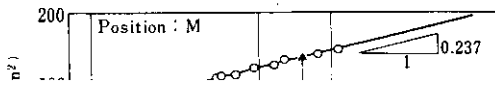
法を用いて直線回帰した結果、次式で表される下

略式は、 $\sigma = a + b \cdot \delta$ の推定式が得られた。

Piston with



な引張特性値の推定を行った。供試材は Fig.8 に断面図を示すような板厚 8mm の SS41 を用い、底板に縦リブをすみ肉溶接したくし形断面の試験体を用いた。マイヤーかたさの測定に先立ち、マイ



社(株)田(フ)リ(上) 10/10 行 日 600127, 10/7

度の測定面積が確保できれば、十分な精度の

参 考 文 献

- 1) 金属材料, 15 (1975) 5
- 2) 黒木: 日本機械学会論文集, 26 (1960) 16
- 3) 堀田ほか: 日本造船学会論文集, (1969)126 ; (1970)127 ; (1970)128
- 4) 奥, 薄井, 佐藤: 材料, 19 (1970)203
- 5) R. Pál, B. Lajos, T. László: Materialprüfung, 16 (1974)12
- 6) D. Tabor: The Hardness of Metals, (1951), [Oxford at the Clarendon Press]
- 7) 遠藤, 小林: 材料, 19(1970)200
- 8) 飯田, 藤井: 日本造船学会論文集, (1968)124

